



泉水山

真庭市立河内小学校だより
R8年度 第17号
令和8年10月9日(金)発行

「最後まで笑顔でつないだチームのわ」全力でがんばった河内っ子



10月3日(土)秋晴れのもと、河内学区運動会を開催しました。今年は全校表現運動や「GoGo キリタロー」に取り組むなど、新しい試みを取り入れての運動会でした。保護者の皆様には、子どもたちの体調管理をはじめ、毎日の持ち物等の準備から当日のテント設営や片付けまで大変お世話になり、ありがとうございました。

<友だちのよさやがんばりに目をむける>



約1か月の練習期間中、全校練習のたびに「振り返り」を行ってきました。自分や友だちのよかったところやがんばったところについての発表が相次ぎ、練習に向かう雰囲気がとてもポジティブ

になりました。中でも低中学年児童の発表が多かったのは、「安心して発表できる空気」で満たされていたからだと考えています。全校児童を前にしても堂々と発表する姿は大変頼もしかったです。

<声が揃うと心も揃う>

今年の運動会で、もう1つ大切にしてきたのが「声」です。「はい」という返事や、「よっちょれ」のかけ声など、声を揃えることで全員の気持ちも揃い、士気も高まってきました。運動場いっぱいに響く声と子どもたちの一生懸命な表情は、見る人の心を揺さぶりました。

<学年を超えた温かいつながり>



低学年が高学年の演技や仕事ぶりに「すごい」「かっこいい」と憧れ、高学年が低学年を「がんばれ」と優しく励ます姿。また、こども園児の演技に向ける温かいまなざしと拍手など、学年を超えた温かいつながりも着実に育まれました。

園と学校のつながりも確かなものとなった様子が、来観された皆様にも伝わりました。



<運動会を支えた6年生の底力>

2学期開始直後から、6年生は各色の「応援合戦」の構成を考え、準備を進めてきました。毎回の応援練習解散後には色担当の職員とともに「振り返り」をもつことで、「よくなってきていること」や「次にすべきこと」を自分たちで考え、動けるようになってきました。視野も広がり、全体を見て「今、必要だと思うこと」を行動に移す力も身につけました。

練習期間中、全校児童が生き生きと練習に取り組むことができたのは、6年生が穏やかで温かい雰囲気をつくってくれたからに他なりません。運動会を成功に導いた13人の6年生の活躍に心からの拍手を送ります!!!



<「GoGo キリタロー」で河内のみんなが1つのチームに>



「よっちょれ」に引き続いての「GoGo キリタロー」では、こども園児から保護者の方、卒業生を含む地域の方々までがわいわいと一緒に踊りを楽しみました。観覧席からも手拍子やかけ声がかかり、みんなが「ごちゃまぜ」になって「ごきげん」に楽しむ様子は、まさに「チーム河内」!!心躍るひとときでした。

PTA種目の綱引きでも、卒業生や教職員も一丸となって心ひとつに綱を引く姿が見られ、みんなが集う「河内らしさ」がいっぱいの運動会となりました。



「人権の木」～運動会がんばったね Ver.～

運動会直前に、練習や準備を振り返り「友だちが一生懸命にしていたこと」や「してもらってうれしかったこと」「『ありがとう』を伝えたいこと」を全校で書き合いました。毎月末には各学級で「よいところ見つけ」をしていますが、今回は学年の枠を越えて書いてみました。低学年からは高学年へ向けて「踊りを教えてくれてありがとう。」「応援を考えてくれて

ありがとう。」など、高学年は低学年へ「玉入れの時、応援してくれてありがとう。」「リレーで一生懸命走っていてすごかったよ。」などのメッセージが寄せられました。運動会が終わっても、友だちのよさやがんばりに目を向ける視点は忘れないでほしいです。

